



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

2530

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：坂本 佳友 幹事：関口 武司 発行：会報・広報委員会

第 3251 例会 (21号) 2022 年 3 月 31 日 (木) 曇

外部卓話 SPEECH

自転車を活用したまちづくり

福岡県出身静岡県伊豆市を經由して
2019年5月よりいわき市へ移住した今年50歳



一般社団法人日本パラサイクリング連盟
専務理事

権 丈 泰 巳 様

「自転車を活用したまちづくり」といういささか大それたテーマになっておりますが、基本的には、①現状の課題や問題点を解決すること、②現状出来ていないことをやってみることの2点

さえ出来れば、自転車を通していわきの人をより笑顔にできるのではないかと考えています。そして、いわきに住んでいる人たちが、楽しんで自転車に乗っている、自然と市外の人や県外の人が「いわき自転車盛り上がり上がっていいんじゃない！走りに行ってみようか！」となり、外からいわきを訪れる人も増えていく、という流れが生まれるのではないかと考えています。

では私がいわきに住むようになり、様々な人からお話を伺う中で浮かび上がってきた問題点とその解決策についてお話していきます。

まず第一に、気軽に相談やメンテナンスなどができる場所がないという現状がありました。県外で購入したり、インターネットで購入する人、転勤でいわきに引っ越してくる時に自転車を持ってくる人たちがいる現状に対し、他店で購入した自転車のメンテナンス・修理できる自転車店が少ないため、買った方がいいがメンテナンスできずにそのまま乗らなくなってしまう人が多数いるということでした。

それを解決すべく考えたのが、どこで購入した自転車でもメンテナンス、修理を行う自転車店の機能を持つ場を開くことです。2021年11月にオープンした自転車文化発信・交流拠点ノレル?のピットルームにて、自転車の試乗・販売サービスと、修理・メンテナンスサービスを開始しました。それと同時に自転車に乗っている人が自分の自転車をメンテナンス・修理できるように、月1回メカニック教室を実施しています。

第二に、そもそも自転車に乗れないから乗らない人、

乗れるけど自転車が怖くて乗らない人もいるのではないかと気づきました。それに関しては、先ほどお話ししましたノレル?のイベントにて、子供向けの補助輪外し教室、大人向けの自転車教室(ロードバイク、クロスバイク)などを実施しご好評をいただいております。

第三に公営ギャンブルというだけで決してイメージの良くない競輪場についてですが、競輪ファン以外の市民からは閉ざされており、自転車に乗っている人も走ることが出来ない場所となっています。その問題を解決すべく、専門の指導者がコーチとなり様々な人が競輪場を思い切り走れるように走路を開放する、CYCLE SMILE IWAKI(サイクルスマイルいわき)という競輪場走行会を月1回実施しています。子供、高齢者、障がい者など皆で楽しめる走行会を実施することで共生の街づくりも繋がっています。

第四に、いわきの若い人たちの活躍する場が少ないと感じたことがあります。これに関しては、ノレル?の情報発信を大学生を中心としたチームに委託しました。若者目線だけではなく、自転車に興味がない人の目線や、〇〇×自転車という、自転車と他の物を掛け合わせるような情報発信を行うことで、自転車に興味のないような方々へも情報を届けることができました。

さて、私がいわきに移り住んで感じた課題や問題点、そしてその解決策についてお話ししてきましたが、「これからやっていきたいこと」についてもお話できたらと思います。

まずは、各行政、国、県、市などと連携し、地域住民を巻き込んだ自転車に優しい街づくり、道路整備などを行うことです。自転車でもまちづくりをしようと様々な行政の部門が起こすアクションと連携をして、そこに地域住民の思いや意思をきちんと反映していくことが必要だと思っています。地域住民の思いが反映されやすい政策を実施できるいわき市を作ることは、今後のいわきの豊かさや住みやすさにもつながるはずですが。

第二に、サイクリストだけでなく、通勤、通学、買い物などに自転車を使っている人(市民)がもっと安心して自転車に乗れるように、ガソリンスタンド、タクシー、バスなどと自転車店、医療機関などを連携し「サイクルレスキュー」の仕組みを作ることです。これがあすることで、自転車走行時の急なトラブル、タイヤのパンクや故障などにすぐに対応でき、より皆さんが安心して自転車を楽しめるようになると思っています。



2021~2022年度
国際ロータリーのテーマ

「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

SERVE TO CHANGE LIVES

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

第三に、自転車そのものに乗るうえで必要不可欠な安全教室を実施することです。市内を通学する高校生を見ていると、ヘルメットの着用率は低く、ライトをつけ忘れていたり、夜間に危険な状態で走行している例も少なくありません。自転車を推奨するのとセットで、安全に自転車に乗るための教室をしっかりと開催し、安全運転の意識向上を図ります。

第四に、子供の成長に合わせたレンタサイクル事業を実施したいと考えています。補助輪外し教室などをやってみてわかったことが、大きくなることを見越して今の体の大きさに合わない自転車を購入してしまったりしているケースも少なくないということです。しかし親御さんからしたら、すぐに使わなくなる自転車

の購入ははばかれる。これに対応できるような、1年間単位での子供自転車の貸し出しを行えたらと思っています。

さて、いわきに移住してからこれまで感じた課題・問題点とその解決策、そしてこれから実現していきたいと思っていることとお話させていただきました。このような取り組みを通して私が目指すのは、「いつでも、どこでも、だれでも自転車に乗れるまち」です。今後も地域の皆さんのお困りごとや問題点と感じていることから、それについての解決策を共に考えていきたいと思っていますので、なにかありましたらいつでもお気軽に相談に来てください。では、また会える時まで。

司会：関口武司幹事

〔点鐘・ロータリーソング（奉仕の理想）・4つのテスト（小野佐重喜会員）〕



小野佐重喜会員

◆退会挨拶

福島民報社取締役いわき支社長兼浜通り創生局長
鞍田 炎 会員

新型コロナ禍で懇親の機会が少なかったことが残念です。引き続き、いわき支社内で仕事をしていますのでよろしくお願いたします。



◆会長挨拶ならびに報告 (代理 八幡恭朗直前会長)



ポールハリスフェローの認証が届いております。ポールハリスフェローは、ロータリー財団の年次基金への寄付額が1000ドルになると認証されて、以降1000ドルごとにマルチプルポールハリスフェローに認証されます。当クラブでは年会費とともにお支払いいただく1万円と例会時に頂いた寄付金を年次基金へ寄付しています。レートによりますが、年間1万円の寄付で12年くらい、財団委員会で奨励する年間150ドルの寄付だと7年くらいでポールハリスフェローになれます。皆さんの寄付額は年次報告書に記載されていますのでご確認ください。

◆幹事報告

- いわき勿来RCより4月プログラム予定表が届きました。
- いわき平中央RCより4月プログラム予定表が届きました。
- 米山梅吉記念館・館報（春号）が届きました。



◆委員会報告・会員報告

◆出席委員会（渡邊博之委員長）

例会日	基本会員数	出席者	メーキャップ数
3月31日	51名	21名	—

◆ロータリー財団委員会（鈴木東雄委員長）

関口武司さん、小野佐重喜さん、渡邊有さん、八幡恭朗さん、阿部弘行さん。以上5件

◆米山記念奨学会委員会（八幡恭朗委員長）

関口武司さん、小野佐重喜さん、渡邊有さん、八幡恭朗さん、阿部弘行さん。以上5件

◆表彰

- マルチプルポールハリスフェロー



伊藤盛敏会員



新妻純男会員

◆スマイルボックス委員会（渡邊有委員長）

♥関口武司さん（権丈様卓話宜しくお願いたします）♥
鞍田炎さん（メンバーとして最後の例会出席となります。1年10カ月お世話になりました。後任の円谷をよろしくおねがいします）♥森雄治さん（鞍田さんお世話になりました）♥越智正典さん（鞍田さんごくろうさまでした）♥有賀行秀さん（権丈さん卓話よろしくお願いたします）♥鈴木東雄さん（権丈様卓話宜しくお願いたします）♥小野佐重喜さん（権丈さんの卓話に感謝して）♥佐々木貢一さん（権丈様卓話よろしくお願いたします）♥八幡恭朗さん（権丈様卓話よろしくお願いたします）以上9名

★本日の例会案内 4月7日（木）18：30～
観桜例会・夜間 会場 南町：きむらや

★次回の例会案内 4月14日（木）12：30～
第5回クラブ協議会
お食事メニュー＝サーモンの香り焼き